

「【意見招請】業務用パソコンの賃貸借及び入換業務（2021-2026年度）」

(公示日：2021年9月30日／調達管理番号：21a00757) について、入札説明書に関するご意見と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部長（契約担当）

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P.5	2.2.1 物品調達	入札参加業者を増やすためには様々な契約形態を認めることが必要と考えます。第三者賃貸借方式での契約の採用してはかがでしょうか。リース会社を契約当事者に加えることで、ベンダー・リース会社での責任区分が明確になるため、貴機構にもメリットがございます。	検討します。
2	P.5	2.2.1 物品調達	仕様書（案）では、取引形態はファイナンスリースとなっていますが、第三者賃貸方式による契約も可とするようご検討をお願いします。 第三者賃貸契約は、府省及び独立行政法人の調達案件におけるリース契約でも一般的な契約形態です。	
3	P.5	2.2.1.1 PC機器/ソフトウェア一式	「PC管理台帳」を成果物として作成する関係でお教えいただきたいですが、調達対象の3800台の内、利用者が特定できない共用端末等はあるでしょうか。もし、共用端末がある場合はどの程度の台数を想定されているかご教示いただきたくよろしくお願いします。	本部各部署・各国内拠点に1~2台程度の共用PCがあります。2022年10月現在で、183台の共用PCがあります。
4	P.5	2.2.1.1 PC機器/ソフトウェア一式 ACアダプタ	「海外ケーブル」は「電源ケーブル」の誤記でしょうか。	「電源ケーブル」に修正します。
5	P.6	2.2.2.1 契約期間	世界的な半導体不足に起因し、現在もパソコンの需給も非常に逼迫している状態が続いています。仕様書（案）では、導入フェーズは2022年2月19日~2022年8月31日（約6ヶ月半）となっていますが、PC製品の納期リスクも配慮し、本調達の納品作業を確実にするため3ヶ月程度の作業フェーズ期間延長のご検討をお願いします。	検討します。
6	P.6, P.52	2.2.2.1 契約期間 8.1.1 保守期間	運用・保守フェーズについては、P6の契約期間では「② 運用・保守フェーズ：2022年9月1日~2026年8月31日（4年間）」とありますが、P52では「② 運用・保守フェーズ：2022年9月1日~2027年8月31日（5年）」とあります。期間はどちらになるかご教示ください。	正しくは、② 運用・保守フェーズ：2022年9月1日~2026年8月31日（4年間）です。P.52を修正します。
7	P.7	3.1.1 成果品等 ②	既存ドキュメントの更新を行うとありますが、既存ドキュメントの対象についてお教えください。またページ数などが分かればをご教示いただきたくよろしくお願いします。	既存ドキュメントの対象有無、内容については設計フェーズにて必要に応じ開示いたします。ボリュームについては、一般的なシステム開発導入プロジェクトで用いられる成果物内容の範囲内となる想定です。
8	P.7	3.1.2 成果品等 一覧	コスト算出のために、更改対象機器導入時の納品資料を閲覧させて頂くことが可能でしょうか。また、受託者に対しては提供頂くことは可能でしょうか。	更改対象機器導入時と今回の調達仕様書では内容が異なり、また当時の成果物の内容とも異なるため、不可としています。
9	P.9	3.1.3 納入期限	納入期限を「2022年8月上旬」から「2022年11月上旬」に変更してはかがでしょうか。世界的な半導体の需給逼迫が継続した場合、端末納入のリードタイムが長期化する可能性がございます。	検討します。
10	P.9	3.1.2 成果品等 一覧	現行のユーザー向けPC操作マニュアルの目次、ページ数を参考までにご教示頂く事は可能でしょうか。	現行のユーザー向けPC操作マニュアルのページ数は35ページです。目次の大項目は3項目に分かれており「1. 執務機で使用する方」「2. 会議に持出す方」「3. Appendix」となっています。
11	P.9	3.1.2 成果品等 一覧	PC環境保守運用要領書の目次、ページ数を参考までにご教示頂く事は可能でしょうか。また、閲覧させて頂くことが可能かご検討いただきたくよろしくお願いします。	現行契約の成果品の閲覧は不可としています。PC環境保守運用要領書は、以下の内容が満たされていれば、ページ数は問いません。 運用サービス提供の前提、サービス概要(提供期間や提供時間、提供場所や対象、対象業務など)、運用の体制、運用フロー
12	P.10	3.2 作業場所 ①初期キッティング時の作業拠点	会議室にて作業期間中PCを保管させて頂きたいため、施錠できる会議室をお貸し頂くことは可能でしょうか。	必要に応じ確保し、提供する旨を仕様書に記載します。
13	P.10	3.2 作業場所 ②PC受け渡しの作業拠点	提供頂ける場所にて作業期間中PC等を保管させて頂きたいため、施錠できる場所をお貸し頂くことは可能でしょうか。	
14	P.10	3.2 作業場所 ①初期キッティング時の作業拠点	キッティングにおける作業場所については、弊社拠点にて実施させていただくことは可能でしょうか。	キッティングの作業場所は問いません。ただし、機構内ネットワークへの接続が前提となる作業に関しては機構内で実施ください。
15	P.10	3.2 作業場所 ②PC受け渡しの作業拠点	PC受渡し時、必要に応じて機構LAN環境へ接続させていただくことは可能でしょうか。また、接続可能な場合、LANケーブルやHUB等は受託者側で用意することとなりますでしょうか。	作業上必要な場合は、調達対象のPCを機構内ネットワークに接続することは可能です。ケーブル等の機器は機構側で用意します。
16	P.10	3.2 作業場所 ②PC受け渡しの作業拠点	特定の国内拠点においては、新旧PCの受渡し台数が少ないため、受渡しではなく、職員様の机に設置させていただき導入でもよろしいでしょうか。	展開方法にてご提案ください。
17	P.11	3.7 情報セキュリティ対策	貴機構の「情報セキュリティ管理規程」、「情報セキュリティ管理細則」を閲覧させて頂くことは可能でしょうか。	「情報セキュリティ管理規程」、「情報セキュリティ管理細則」については、契約後に閲覧可となります。
18	P.18	4.1.4 受託者の資格要件	「本調達の受託者は、以下の実績、資格要件を満たすこと。」を「本調達の受託者もしくは再委託先は、以下の実績、資格要件を満たすこと。」に変更してはかがでしょうか。参入障壁を緩和することにより、入札参加企業の増加につながる効果がございます。	原則、再委託は認めない想定ですが、一方で共同企業体（JV）の競争参加を認めています。当該箇所に記載されている実績、資格要件については、共同企業体としてこれを満たしていれば問題ありません（ただし、競争参加資格は共同企業体の構成員全てが満たしている必要があります）。
19	P.19	4.1.5 本調達の受託者のプロジェクト体制に係る事項	共同企業体（JV）だけでなく、共同事業体（コンソーシアム）の結成も認められてはかがでしょうか。ICTの賃貸借においてはJVよりもコンソーシアムの方が一般的です。事業者の機器調達が可能になり参入障壁が下がり、各事業者の専門領域を活かし質の高いサービス提供が可能となる等の効果がございます。	共同企業体（JV）のみ競争参加を認めます。
20	P.23	5.1.1 執務室机以上の業務生産性の確保	ディスプレイとキーボードについて、継続利用される旨が記載されておりますが、マウスは別調達や職員様個別による調達として考えてよろしいでしょうか。また、本調達のPCのインターフェース仕様に沿ったマウスを前提としているということで認識齟齬ございませんでしょうか。	ご認識の通りです。
21	P.24	5.1.1.2 PCの基本性能1 図表10：PC本体のスペックにかかる必須要件	《修正案》 追記： 内蔵バッテリーの過充電対策として、BIOSにより過充電を管理することができること。また内蔵バッテリーの状況に応じて充電量が自動管理ができること。 《理由》 モバイル端末では、外出先だけでなく、ピークシフト対応を含めバッテリー駆動の環境が増えている反面、オフィスや特にテレワークなどの固定された利用下の環境では常時接続による過充電となる傾向があります。フル充電に使い状態で使用を続けた場合、バッテリー負荷が大きく劣化を著しく進行させます。バッテリー交換も近年では軽量化及び薄くするためにガム型のリチウムイオンポリマー充電電池を採用している為、脱着式でなく内蔵バッテリーとなるため、修理扱いとして運用コストが高まる可能性がございます。確実に管理する為にも、OSやアプリケーションでのソフトウェア管理ではなく、ハードウェアによるBIOSによりできることを推奨します。	検討します。

22	P. 24	5.1.1.2 PCの基本性能 1	<p>(本文) 加えて今後、ネットワーク分離やVDI環境導入等の新たなセキュリティ強化施策を検討・導入する可能性もあるため、リモートデスクトップ接続ソフトウェアやWEBベースでのリモートアクセス等の複雑な利用を想定した場合でもパフォーマンスが損なわれないPCを選定し、その根拠も含めて提案すること。</p> <p>《意見》 今回の範囲外となりますが、今後のエンドポイントセキュリティの強化のため、端末内の仮想化技術を利用した端末内アプリケーション隔離実行ソリューションにより、性能、操作性を向上しつつ、セキュリティを高めることを推奨いたします。弊社が販売している、HP Sure Click Enterpriseは、以下の特徴があります。 ・端末内仮想環境はCPU/メモリの利用に関して技術的に優れており、軽量に動作します。 ・一時的な使い捨て仮想環境のため、マルウェアが永続化しないため、セキュリティが向上します。 ・セキュアブラウザは、Edge、Chromeと同様、Chromiumベースのため、描画レベルは同等となります。 ・仮想環境上では必要最低限のプロセスしか動かないため、脅威分析の際にノイズとなるログが少なく、分析が容易となります。</p>	検討します。
23	P. 24	5.1.1.2 PCの基本性能 1	今後検討中のVDI環境の導入についてどのような構成を想定しているか想定案をご教示いただけますでしょうか。	VDIについて国内ユーザの日常的な利用は想定していません。在宅等の構外の環境で、PCにてメールや機構内へのVPNアクセスができない際に、VDI経由でクラウドや機構内システムを利用できるような代替手段としての利用を想定しています。
24	P. 25-26	5.1.1.4 PCの基本性能 3 有線 LAN 接続	<p>《質問》 P25に下記記載があり、P26記載図12との整合性がとれません。 拡張機器を利用した有線LAN接続も提案可能とするが、NICのMACアドレスは、対応するPCと1対1で紐づけられるものとし、拡張機器を他のPCへ接続した場合にMACアドレスを流用できてはならない。拡張機器での提案を行う場合は上記の条件を満たせる仕組みであることを明記すること。</p> <p>P26「図表12:LAN環境必須要件一覧」記載 有線 LAN と接続可能なこと。※オンボードで接続ポートを搭載することを必須とする。 ※拡張機器等を用いた接続ポートは、複数ユーザーの使いまわしによる管理運用面、セキュリティ面のデメリットが発生するため、不可とする。</p> <p>《修正案》 P26「図表12:LAN環境必須要件一覧」記載 追記(前略) PCのBIOSが保持するMACアドレスをパススルーさせる機能を持つ拡張機器は可とする。</p> <p>《理由》 昨今PCではレガシーとなるポートの置き換えが進んでおり、有線LANにおいてもポートの置き換えが進み非搭載製品が増えています。しかしながら有線LANを使用した認証を必要とされている環境も多く、PCのBIOSが保持するMACアドレスをパススルーさせる機能を持つ変換アダプターをメーカー純正品として用意があり、BIOSの設定により変換アダプターが保持する固有のMACアドレスを使用せずPCのBIOSが持つMACアドレスを使用することができます。 オンボードの有線LANだけでなく、MACアドレスパススルーする機能を有する変換アダプターの採用を推奨します。 オンボードの有線LANポートのみに制約されると、提案できる製品を著しく限定することになります。</p>	<p>有線LANについては、オンボードで接続ポートを搭載することを必須としています。拡張機器を利用した有線LAN接続も提案可能としますが、NICのMACアドレスは、対応するPCと1対1で紐づけられるものとし、拡張機器を他のPCへ接続した場合にMACアドレスを流用できないようにする必要があります。</p> <p>整合性を鑑み、P26「図表12:LAN環境必須要件一覧」の記載「※拡張機器等を用いた接続ポートは、複数ユーザーの使い回しによる管理運用面、セキュリティ面のデメリットが発生するため、不可とする」は削除します。</p>
25	P. 26	5.1.1.4 PCの基本性能 3	提案可能な機種を選択肢を増やすため、PC本体のオンボードの接続ポートについては、LAN変換アダプターを介して接続する方式でも可とするようご検討をお願いします。	有線LANについては、オンボードで接続ポートを搭載することを必須としています。拡張機器を利用した有線LAN接続も提案可能としますが、NICのMACアドレスは、対応するPCと1対1で紐づけられるものとし、拡張機器を他のPCへ接続した場合にMACアドレスを流用できないようにする必要があります。
26	P. 26	5.1.1.4 PCの基本性能 3	内蔵有線LANは必須要件となりますでしょうか。外付けのアダプター等での対応は許容範囲となるかお聞かせください。	
27	P. 26	5.1.1.5 PCの基本性能 4	映像出力端子は本体内部のHDMI端子とされていますが、継続使用される既設の外部ディスプレイの映像入力はアナログRGBとDVI-Dとなっております。HDMI→DVI-Dの変換ケーブルについては、消耗品としての調達は不要となりますでしょうか。必要となる場合については、本数をご教示いただけないでしょうか。	「5.1.3 ①執務室机上での業務」に記載している通り、VGAまたはDVI-D端子との接続が必要となるため、変換ケーブルまたは変換コネクタでの接続が必要な場合は付属品として提供をお願いします。個数についてはPC本体と同数の3800個とします。
28	P. 27	5.1.1.6 USB接続外部装置の接続拡張性の確保	USBポートが合計3(USB-A×1ポート、USB-Cポート×2)の搭載のモデルは許容範囲でしょうか。	必須条件は必須：USB-A × 2ポート以上、およびUSB-Cポートの搭載としていますが、拡張機器を用いた接続方法でも可としています。
29	P. 29	5.1.2 移動時の可搬性の確保	提案可能な機種を選択肢を増やすため、PC本体重量及び本体サイズを以下の通り緩和いただけますようお願いいたします。 ・ディスプレイ、内蔵キーボード、バッテリーを含む総重量は1.45kg以下であること。 ・本体サイズは横330mm以内、縦230mm以内であること ・内蔵キーボード、バッテリーを含むPC本体の最厚部は19.5mm以下であること	
30	P. 29 図表17	PC本体重量	今回の総重量が1.2kg以下でのご指定を頂いておりますが、今回のご要件(LANポート内蔵)の製品は市場において限定されることから重さの条件を緩和頂けないでしょうか。具体的には1.4kg以下とさせて頂ければ選定機種を増やすことが可能です。 また、現状の半導体枯渇により提案可能機種が絞られてしまう事は納期リスクにも響くため、ご検討の程お願いいたします。	
31	P. 29 図表17	PC本体サイズ	本体サイズは横320以内、縦220mm以内であること 内蔵キーボード、バッテリーを含むPC本体の最厚部は18mm以下であること と、記載頂いておりますが、13.3インチ以上の大画面を許容頂くためにサイズの制限を設けないか、もう少しサイズが大きくても許容頂けないでしょうか。 具体的には横330mm以内、縦220以内、厚さ20mm以内としていただけますと幸いです。	
32	P29	5.1.2 移動時の可搬性の確保	PC本体重量 ディスプレイ、内蔵キーボード、バッテリーを含む総重量は1.2kg以下であること ※セパレートタイプの場合は合計重量とする 《修正案》 ディスプレイ、内蔵キーボード、バッテリーを含む総重量は1.4kg以下であること ※セパレートタイプの場合は合計重量とする。 《理由》 半導体(IC)チップ不足により、製造部材の供給が不安定となっております。幅広い機種を提案できるようにするために重量の緩和を提案致します。	
33	調達仕様書(案) P. 29	5. PC環境整備要件 5.1 PCハード要件 5.1.2 移動時の可搬性の確保 図表17: PC本体の可搬性にかかる必須要件	「PC本体重量：ディスプレイ、内蔵キーボード、バッテリーを含む総重量は1.2kg以下であること」と記載がありますが、提案される機器が限定されてしまうため、1.37kgまで認めていただけますようご検討をお願いいたします。	重量、本体サイズについて再考します。なお今後、実機評価も実施予定の為、実際のサイズ感や重量についてはその際に確認させていただきます。
34	調達仕様書(案) P. 29	5. PC環境整備要件 5.1 PCハード要件 5.1.2 移動時の可搬性の確保 図表17: PC本体の可搬性にかかる必須要件	「PC本体サイズ：本体サイズは横320以内、縦220mm以内であること」と記載がありますが、提案される機器が限定されてしまうため、横321.4mmまで認めていただけますようご検討をお願いいたします。	

35	調達仕様書(案) P. 29	5. PC環境整備要件 5.1 PCハード要件 5.1.2 移動時の可搬性の確保 図表17: PC本体の可搬性にかかる必須要件	「PC本体サイズ: 内蔵キーボード、バッテリーを含むPC本体の最厚部は18mm以下であること」と記載がありますが、提案される機器が限定されてしまうため、19.3mmまで認めていただけますようお願いいたします。	
36	P. 29	5.1.2 移動時の可搬性の確保	PC本体重量について許容範囲があれば教えてください。	
37	P. 29	5.1.2 移動時の可搬性の確保	本体サイズについて許容範囲があれば教えてください。	
38	P. 29	5.1.2 移動時の可搬性の確保	「図表17: PC本体の可搬性にかかる必須要件」について、PC本体のみでの画面の視認性、作業操作性を考慮したPCを提案するため、縦のサイズを225mm以内とさせていただくことは可能でしょうか。	
39	P. 30-31	5.1.3 各業務利用シーンにおける操作性や接続性の確保② 在宅勤務での業務	在宅勤務時のトラブルとして、水をこぼす等による損傷や、子供など家族のいたずらによる破損のケースが増えているため、機器の堅牢性や損傷時の保守性が優れていることが求められる。 《修正案》 追記: 堅牢性の基準として米軍調達基準 (MIL-STD-810H) の試験項目をクリアしていること。 《理由》 在宅勤務等で機器を持ち運ぶことを考慮して、堅牢性の業界標準である米軍調達基準の各種項目をクリアし、機器の堅牢性が証明されていることが重要です。 また、米軍調達基準の最新バージョンであるMIL-STD-810Hをベースとした試験をクリアしていることが望ましいです。	別添3評価基準表における加点要素として「耐久性」を追記します。
40	P. 31	5.1.3 各業務利用シーンにおける操作性や接続性の確保③	コスト算出のために、VGA接続を必要とする台数およびケーブル長を明記頂けますでしょうか。	VGA端子との接続に、変換ケーブルまたは変換コネクタでの接続が必要な場合は付属品として提供をお願いします。個数についてはPC本体と同数の3800個とします。なお、VGAケーブル自体はディスプレイやプロジェクタに付属している認識ですので調達不要です。
41	P. 33	5.1.3.2 PCの基本性能6	継続利用の「LCD-AD242Eシリーズ」は、何台あるのでしょうか。今回導入する3800台の全台が接続できるように必要なケーブル等を用意する必要がありますでしょうか。予備機300台を除いて、3500台が接続できれば良いのでしょうか。コスト算出のために、台数が限定される場合は、必要数を明記頂けますでしょうか。	「5.1.3 ①執務室机上での業務」に記載している通り、VGAまたはDVI-D端子との接続が必要となるため、変換ケーブルまたは変換コネクタでの接続が必要な場合は付属品として提供をお願いします。個数についてはPC本体と同数の3800個とします。
42	P. 33	5.1.3.2 PCの基本性能6	更改対象機器の「LIFEBOOK U937/R」は外部ディスプレイとの接続インターフェースとしてHDMIを1ポートだけ有している認識です。継続利用の「LCD-AD242Eシリーズ」とは、どのようにDVI-D接続して問題が発生していたのでしょうか。同様の問題が発生することを回避するために、具体的な製品名を提示して接続構成を記載頂けますでしょうか。	ブラックアウトの事象が発生した構成は、PC - USB-DVI-D変換コネクタ - DVI-Dケーブル - モニタ (デジタル端子接続) となります。回避の際に使用した構成は、PC - USB-DVI-D変換コネクタ - DVI-D-VGA変換ケーブル - モニタ (アナログ端子接続) となります。
43	P. 35	5.2.1 セキュリティ対策 図表 24: セキュリティ機能	BitLocker : 実装を必須とする。 《修正案》 追記 (前略) TPM v2.0以上に準拠し、物理的に独立したDiscreteタイプのchipであること。また、Common Criteria EAL4+の認定を取得していること。 《理由》 BitLockerでは、TPMの実装が必須となります。TPMには、ファームウェア上で実装されるファームウェアTPMと専用HW上で実装されるディスクリープTPMがありますが、より改ざん/破壊リスクを減らせるディスクリープTPMを推奨します。また信頼性を高めるため、第三者機関の認証を取得していることを推奨します。	検討します。
44	P. 35	5.2.1 セキュリティ対策 図表 24: セキュリティ機能	《修正案》 追記 ファームウェア (BIOS等) 改ざんの有無を検出する機能、および、改ざん時は専用ストレージに暗号学的に安全に保護されたバックアップコピーから自動で復元する機能を持つこと。 《理由》 ファームウェア改ざんを検知後、復元が必要になりますが、手動で復元する場合は、復元までの業務停止時間が長くなるため、改ざん検知後情報を収集した上で、自動で復元する機能を有することが望ましく提案致します。	検討します。
45	P. 35	5.2.1 セキュリティ対策 図表 24: セキュリティ機能	《修正案》 追記 汎用のPC管理ツールと組み合わせて利用する事でBIOSの設定変更や更新をリモートから実施できること 《理由》 Windowsのセキュリティ機能の多くがBIOSに依存するようになりました、PCの管理において以下3点の重要度が増してきています。BIOS管理に関して提案致します。 BIOSの設定を勝手に変更できないようにすること BIOSの設定が必要なタイミングで変更できるようにすること BIOSが必要なタイミングで更新できるようにすること	検討します。
46	P. 35	5.2.1 セキュリティ対策 図表 24: セキュリティ機能	《修正案》 追記: BIOS管理画面へのアクセス制御をパスワードによる認証ではなく公開鍵暗号化による認証で実施できること 《理由》 Windowsのセキュリティ機能の多くがBIOSに依存するようになり、BIOS管理画面へのアクセスについてもPC管理者において制御する必要があります。公開鍵暗号化による認証することでより安全に管理することが可能となりますのでご提案致します。	検討します。
47	P. 38	6.1.2 初期マスターイメージの作成	運用フェーズにて「マスターイメージを定期的にアップデートを行う」とございますが、左記の作業は運用業者様にて実施するとご理解でしょうか。	ご理解の通り、マスターイメージの定期的なアップデートは運用業者にて実施します。マスターイメージのアップデート手順については本契約受託者にて設計のうえ運用業者へ引継ぎを実施いただきます。
48	P. 38	6.1.1.3 グループポリシー設計	ADサーバから全てのグループポリシーを設定することは可能でしょうか。	グループポリシーはADサーバから設定することが可能です。
49	P. 38	6.1.1.4 ユーザーの操作負担の軽減	各種セキュリティ機能を搭載する際に、ユーザーの通常利用時での操作負担 (複数のパスワード入力等) が、より少なくなるような設計での提案を加点の対象とする。更改対象機器で「操作負担 (複数のパスワード入力等)」が実現できている範囲をお教え願います。そして、より少なくなるように設計するために、既存機器の設計書および各種手順書の提供をお願いいたします。	セキュリティに係る部分となるため、契約後に設計資料を提供します。
50	P. 39	6.1.4 最終マスターイメージ作成と動作確認	「クラウドを活用したマスターイメージ作成など」について、マスターの設計や作成時の設計資料や資材をクラウドストレージ等を活用して、セキュアにやり取りを行うことを想定されておりますでしょうか。それとも、JICA様にてご利用可能なクラウドを活用するためのマスターイメージ作成を想定されておりますでしょうか。前者の場合は、受託者契約のクラウド利用でも差支えありませんでしょうか。受託者契約のクラウドが使用不可な場合と、後者のJICA様クラウドを活用する場合は、JICA様にてご利用可能なクラウドシステムの詳細をお教え願います。	マスターイメージの情報をクラウド上で定義し、PCをインターネットに接続するだけでマスターイメージが適用されるゼロタッチキッティング等のクラウドを活用した新しいデバイス展開方法を採用することも選択肢の1つとして想定している、といった意図で記載しています。
51	P. 39	6.1.4 最終マスターイメージの作成と動作確認	複数種類のマスターイメージの作成とありますが、日本語以外のマスターイメージの作成は想定されておりますでしょうか。	マスターイメージは日本語での作成を想定しています。
52	P. 43	7.1.3.2 PCの複製	「後工程の展開作業を円滑するために機構ネットワークに接続し～」とありますが、キッティングを弊社拠点で実施できる場合、機構ネットワークへの接続については当方任意の場所から接続することは可能でしょうか。	機構ネットワークへの接続は機構内にて実施をお願いします。

53	P. 44	7.1.3.5 更改対象PCの回収	「ユーザーの責により、回収品に欠品や破損がある場合には、機構が提示する書面にユーザーにて記入&署名させ、回収すること。」とありますが、代理の方が旧PCを持参された場合は、その方に署名頂くことでよろしいでしょうか。	当該ユーザー自身が記入および署名することを想定しています。
54	P. 44	7.1.3.5 更改対象PCの回収	「よって、一定期間の間、受託者にて専用場所で待機をすることになるが、待機日数については拠点ごとのPC台数が50台につき1日（250台の拠点の場合は待機日数が5日間）を目安とする。」とあります。この想定ケースでのパソコン交換においては、毎日パソコンを50台導入するのではなく、250台を一括で貴機構に搬入させて頂くことは可能でしょうか。また、引き取りについても同様に250台を一括で搬出することは可能でしょうか。新旧250台のパソコンが置ける施設できる会議室等をお貸し頂きたくご検討の程よろしく申し上げます。	可能です。また会議室等を確保する旨仕様書に反映します。詳細な展開方法について提案書でご提案ください。
55	P. 45	7.1.3.6 新PCの引き渡し	「引き渡したPCについて、ハードウェア故障や初期起動故障がないことをユーザーが確認し、確認結果を双方で記録できること。」とありますが、ユーザー様が自席に戻り入電した際に、入電できない等があるとお手数をおかけすることから、受け渡しスペースにて初期起動作業を実施頂きたいと思いますが可能でしょうか。可能である場合、電源をお貸し頂きたくご検討の程よろしく申し上げます。	電源の貸出は可能です。詳細な展開方法について提案書でご提案ください。
56	P. 45	7.1.3.7 更改PC対象の一時保管	旧PCの移送が発生した場合、貴機構への移送については依頼当日は困難であり、翌日、翌々日等になりますがご了承頂けるという理解でよろしいでしょうか。	万が一、ユーザーによる更改対象PCのデータ移行が失敗していた場合に備えて「① 引き取り日から5営業日後までの期間、更改対象PCを一時的に保管しておくこと」としています。もしこの5営業日の間は、できれば当日、遅くとも翌日には機構へPC移送ができることが望ましいです。
57	P. 45	7.1.3.8 更改PC対象の返送	更改対象PCについては図表30にある都内某所に返送しますが、更改対象PCは梱包材に梱包しパレットの上に荷積みした状態で、更改対象機器賃貸借業者様へお渡しすることを想定しておりますが認識齟齬ございませんでしょうか。	ご認識の通りです。詳細の受け渡し方法については実施フェーズにて更改対象機器賃貸借業者と協議のうえ決定します。
58	P. 45	7.1.3.8 更改PC対象の返送	③返送先の受取り可能時間帯は、平日10:00-17:00とありますが、返送する回数は複数回に分けて返送してもよろしいでしょうか。	詳細の受け渡し方法については実施フェーズにて更改対象機器賃貸借業者と協議のうえ決定します。
59	P. 47	7.1.11.1 データ移行の概要	データ移行の際には、「各個人用のOneDriveを利用」とありますが、OneDriveの一人あたりの割当容量をご教示いただけますでしょうか。	個人に割り当てられたOneDrive領域は1人あたり1TBまで利用可能です。
60	P. 47	7.1.11.1.2 移行対象データ	移行対象のデータ量は、1台あたり平均で何GB程度の容量となりますでしょうか。また、データ量の多い機器では最大で何GB程度の容量となりますでしょうか。	データ移行の最大値は、更改対象機器のローカルディスク容量120GB程度を想定しております。多くの利用者が最大値に近い量のデータを所有していると思われるため、平均は100GBを越えると考えています。
61	P. 47	7.1.11.1.2 移行対象データ	データ移行時に使用できる回線帯域はどのくらいでしょうか。	データ移行作業場所次第となります。本部ですと1Gbpsですが、国内拠点ですと100Mbpsの拠点が多くなります。また、在宅環境で移行を行う場合、ユーザーによって異なります。
62	P. 48	7.1.11.1.3 データ移行の留意点	グループポリシーにて、PC上でのファイル共有やファイル実行等の機能は無効化について、設定内容または禁止される条件を閲覧させて頂くことは可能でしょうか。コスト算出のために、仕様書に条件を明記頂くか、入札時に資料閲覧をさせて頂けますでしょうか。	セキュリティに関する情報の為、契約後に必要な情報を開示します。
63	P. 50	7.1.13.1 データ移行・PC展開作業支援	「⑤問い合わせ対応に必要な待機場所、電話機やPC等の機材は機構より貸与する。」とありますが、作業スペースがどの程度分かればご教示いただけますでしょうか。	15~20㎡程度の広さの部屋を想定しています。
64	P. 50	7.1.13.1 PC展開作業支援	貴機構のご担当者様が何らかの事情にて展開期間中に引き渡しができない場合、展開期間中の問い合わせとその回答要領を運用業者様へ引継ぐことと同様に引き渡し予定の端末も運用業者様へ引継ぐことでよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
65	P. 52	8.1.3.2 復旧対応	最新マスターイメージへの復旧作業は、機構国内拠点で機構内ネットワークを使用しての実施を想定しておりますが、よろしいでしょうか。	問題ありません。
66	P. 52	8.1.1 保守期間	賃貸借期間は2022年9月1日~2026年8月31日までの48ヶ月の認識ですが、2027年8月31日までの5年間保守が必要となりますでしょうか。	保守期間においても、2026年8月31日までをお願いします。仕様書を修正します。
67	P. 52	8.1.4 予備機	予備機を使用し故障機を引き取る際の制限事項はありますか。（ストレージは持ち出せない、あるいは消去してから持ち出すなど）	故障機のストレージを受託者にて持ち出す場合にはデータ消去をおこなっていただきます。
68	P. 52	8.1.4 予備機	機構にて想定されている予備機300台のうち受託者環境で保管している分から故障時の代替機として運用することは許可頂けますでしょうか。	可能ですが、その場合、常に予備機を300台とするよう、のちに補充していただきます。
69	P. 53	8.1.4 予備機	故障機に関しては、修理後「機構が提供する最新マスターイメージを適用したうえで予備機としてストックする事」とありますが、予備機のマスターイメージのバージョン管理は運用業者、本件受託業者のいずれの範疇となりますでしょうか。（受託業者から予備機の提供の際は、その時点での最新マスターイメージの使用を想定しておりますが、マスターイメージは更新されるため、保管中に予備機に設定されているバージョンと最新版との乖離が発生します。定期的に予備機のマスタの最新化を実施する事は受託業者の想定外との認識でよろしいでしょうか。）	予備機のマスターイメージのバージョン管理は運用業者の対応範囲となりますので、受託者での定期的な予備機のマスタ最新化は不要です。
70	P. 53	8.1.4 予備機	予備機の提供時の状態ですが、以下のいずれの状態でしょうか。 ①. 提供時点の最新マスタでクローニングを実施した状態（ネットワーク未接続） ②. 上記①の状態に対してキッキングを実施した状態（ネットワーク接続、ドメイン参加済み）	「①. 提供時点の最新マスタでクローニングを実施した状態（ネットワーク未接続）」を想定しておりますが、設計フェーズにてよりよい手段があれば協議検討を行なう想定です。
71	P. 53	8.1.4 予備機	「故障機を引き上げた場合には、受託者側で迅速に故障機に修理を行い」とありますが、故障機の引き上げの際に、SSDのデータの消去実施・お客様による消去確認は必要でしょうか。	故障機のSSDを引き上げる場合にはデータ消去対応を受託者をお願いします。弊機構による消去確認は行っていません。
72	P. 54	8.1.7 その他	利用ユーザーの管理についての質問となりますが、PC導入事業者としては、資産管理のみ（JICA職員様個々に紐づくのはPCとワイヤのみ）となる認識でよろしいでしょうか。職員様の人事異動の際に、PC導入事業者側にて必要となる対応を把握しておきたく、ユーザー管理のレベル（資産管理のみかアクティブディレクトリの管理まで必要か）について、ご教示いただけますでしょうか。	ご認識の通りです。職員の人事異動の際に、PC導入事業者側で必要になる対応はありません。
73	P. 54	8.1.7 その他 ①	「機器設定内容に関する問い合わせ及びPCの操作に関する問い合わせ」について想定される内容や頻度があれば、ご教示いただきたい。	設定するパラメータの意図や、その設定により想定される動作や影響、またはその動作を確認する操作方法を想定しています。基本的に定期開催する会議にて行う想定です。ただし緊急の場合は会議の有無にかかわらず問合せをさせていただきます。
74	別紙	3 調達仕様書別添資料 2 搭載アプリケーション一覧（案）	Silverlightについては、2021年10月12日にサポートが終了していること、Microsoft Edgeではサポートされていないことから、搭載ソフトウェア対象外になるとの理解でよろしいでしょうか。	Edgeでは動作しませんが、EdgeのIEモードでは動作します。また、サポートは終了していますが、利用の継続は可能なため、継続利用を想定しています。
75	別紙	別添資料2 搭載アプリケーション一覧（案）	Javaの動作環境は搭載ソフトウェア対象外との理解でよろしいでしょうか。	現在は対象外の想定です。
76	別紙	図表 1 機構のITインフラ環境イメージ図（HP上で公開せず、閲覧のみとする）	JICA通信網の帯域、回線スピードを差し支えなければ、ご教示いただけないでしょうか。（各事業所建物内、データセンターと各事業所間）	データセンターと本部間の通信は1Gbpsです。各事業所内は100Mbpsの拠点が多くなっています。
77	別紙	—	ご利用者様がデータ移行（データバックアップ・復元）を実施する場所は、別添資料 1 機構本部・国内拠点一覧の場所のみとの認識でよろしいでしょうか。（在宅や海外勤務先でのデータ移行作業を行うことは想定外との認識でよろしいでしょうか。）	海外拠点でのデータ移行作業はありませんが、在宅勤務環境でデータ移行を実施する可能性があります。
78	別紙	拠点一覧	拠点ごとの設置予定台数をご教示いただけますでしょうか。	およその台数を次回公示時に追記します。
79	別紙	アプリケーション一覧	提案にあたり、Citrix Workspacelは既存PCで利用されていますでしょうか。利用中の場合は現行の使用方法をご教示いただけますでしょうか。	Citrix Workspaceは既存PCで現在利用していません。Citrix Workspaceを利用したVDI環境は2022年3月までに構築予定であり、アプリケーション（案）に含めています。